

「ごみゼロ・カーボンゼロ研究コンクール in 青森」企画書

【趣旨】

循環型社会の基盤となる“Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）”の3Rや温暖化緩和の基本となる**カーボンゼロ**について、「研究部門」と「アート部門」に分けて取り組むコンクールです。

「研究部門」では、小中学生を対象に夏休みの自由研究や授業、課外活動等を通して取り組むコンクールです。

今年度は、「アート部門」を創設します。ごみゼロ・カーボンゼロに関連したアート作品を募集します。作品の形態は問いません。

日本は 2050 年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルを目指すことを宣言しています。このコンクールへの取り組みを通じて、環境への考えを深めてもらうことを目指して企画しました。

【内容】

研究部門

作品テーマ：ごみや温暖化をテーマとした研究

<例えば>

- ごみゼロ：ごみの削減や減量、リサイクル、処理方法等をテーマにしたもの
野菜の皮から紙を作る実験 生ごみ堆肥の実験
エコクッキングレシピづくり など
- カーボンゼロ：温暖化や気候変動、脱炭素をテーマにしたもの
温暖化の仕組みについて 昔のお天気を読み解こう
温暖化に対する世界の取り組み
カーボンゼロクッキング など

アート部門

作品テーマ：ごみゼロ・カーボンゼロに関連したアート作品

作品の形態は問わない

※審査は写真で行う。作品の様子がよくわかる写真を送付すること。

受賞作は表彰式に持参していただく予定です。

(1)応募資格

研究部門

青森県内在住・在学の小学生、中学生

※グループやクラス単位での研究作品の応募も可

※応募作品はオリジナルかつ未発表のものに限る

※学校内のコンクールなどに出品したものは応募可

アート部門

青森県内在住・在学の小学生、中学生、高校生

※グループやクラス単位での研究作品の応募も可

※応募作品はオリジナルかつ未発表のものに限る

※学校内のコンクールなどに出品したものは応募可

(2)募集期間

2025 年 8 月 15 日～9 月 10 日

(3)応募方法

インターネットからの応募

応募フォームに必要事項を入力

- ① 名前（フリガナ）
- ② 生年月日
- ③ 学校名、学年
- ④ 連絡先(電話/ご住所)
- ⑤ 作品のタイトル
- ⑥ 作品の説明や想い（アート部門応募の方）
- ⑦ 著作権、肖像権などについての同意
- ⑧ HP 等掲載時の実名掲載の可否
- ⑨ 作品応募

→応募いただいた方に作品をアップロードできる URL を送付

＊学校等、一度に多数の応募がある場合はご相談ください。

または、a530@mushimega.net へメール送付。

(4)審査

2025 年 10 月上旬に審査実施予定。

審査員は、スポンサー各社からの希望者と委員長が指名した者とする。

(5)入選者発表

10月中旬に、応募フォームご記入のご連絡先または学校（グループ応募の場合）に通知するほか、作品および氏名・学校名・学年を、WEBサイトで発表する予定。

※これら情報の公表については、応募の際、許諾をいただきます

(6)賞

最優秀賞 各部門ごとに1作品ずつ「表彰状と副賞」

特別賞（優秀賞、入選） 各部門ごとに5作品ずつ「表彰状と副賞」

※スポンサーから任意の副賞を贈呈

※審査の結果によっては、該当作品なしの場合もあり

(7)表彰式

11月4日（祝・火）＜予定＞

(8)予算

予算は以下の通りを予定。

委員会では現金を持たず、NP0 法人木野環境の会計内で行う。

委員長が収支を監査する。

【収入】				
スポンサーA	300,000	3	900,000	
スポンサーB	100,000	3	300,000	
スポンサーC	50,000	8	400,000	
スポンサーD	30,000	10	300,000	
スポンサーE	10,000	10	100,000	
			2,000,000	
【支出】				
広報費用（チラシなど）	700,000	1	700,000	
事務局＋アルバイト代	1,000,000	1	1,000,000	
表彰式イベント	300,000	1	300,000	
			2,000,000	

スポンサーA～Eの枠は調整することがあります。

(9)後援

青森県、青森県教育委員会、青森市、青森市教育委員会、新聞メディア各社、趣旨に賛同いただける企業、地域活動をおこなっているNP0等へ後援申請を予定している。

(10)広報

〈チラシ・ポスター〉

県内小中学校等約250校、児童館等約20か所、県内市町村等約20カ所、図書館、博物館、各スポンサー、NPOに配布し掲示を依頼

＊青森市内小学校4～6年生、特別支援学校には全員へ配布予定。

その他の学校へは各10枚ずつ配布、中学校へは科学部での活用を勧める。

〈プレスリリース〉

表彰式前にプレスリリースをおこなう